

0138

一九二四年

4K7

人事局

局長 

課長

局長 







第十課

親展

四一 受信 始 一七〇四七 課了 一七〇五〇〇三五三 人事・官房・令副

● 二五根△・二六根△

● 大臣・總長・聯合艦隊口・南西方面艦隊各口・二四根△・一八警 勢東團司令部

● 第四南遣艦隊口

暗号機

機密第三一〇九四〇番電

一、現戦況ニ鑑ミ海軍大佐濱中匡庸甫ヲシテ二六機特根司令部「マノクワリ」進出同方面海軍部隊ノ指揮ヲ分掌セシムベシ
二、二五特根司令官ハ海軍大佐平野孝雄ヲ「マノクワリ」ニ派遣海軍大佐濱中匡庸甫ヲ輔佐セシムベシ。

二九一 口一▲(一九五六五)二二通

海軍

129

3F

局長

課長

局員

第十課

第四特設隊

受了機

九五五〇五

〇〇〇三三三

六〇三三三

〇〇〇三三三

〇〇〇三三三

第三機隊

大連隊一部・航空機隊部・聯合機隊中

機

機密第〇一〇五〇八番

二分ノ下三

第二航空隊司令部

四月一日 六五二機飛行機隊現狀左ノ如

一等機隊地兵力トシテ使用可能約六〇%

二等機隊三月十九日訓練開始給付分限訓練

三九九式機上機隊機隊地兵力トシテ使用可能約六〇% (大風浪激中)

ノモトノ命令

四機隊(天山隊)機隊ニ於テ陸軍機ノ購買終了セルモ機材受入ノ

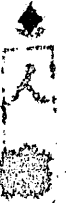
三三三・三三八

呂四A(日)現

海

軍

130



六機(零)ニシテ本格的訓練開始四月十五日頃ノ豫定

五着艦訓練開始豫定

零戦戰器九九式機四月十一日 慧星天山四月下旬

六綜合戦力

(1)作戦地ヨリノ基地員集結並ニ補充員ノ移入ヲ極力促進シツツアル
モ現在迄ニ集結合セルモノ約六十五%ニシテ特ニ整備員兵器員不
足シアリ

(2)戦闘機整備機ハ改造ニ對スル陸軍備未済準備出來次第着手ノ豫定

(3)基地兵力トシテ使用可能約五十%四月末毎級兵力トシテ使用可能
ヲ目指シ急進整備シツツアリ

第電
第十號

海

軍



31

53F

人事局

局長

課長

局長

局長

局長

局長

局長

作

一、...

...

...

...

...

第五十七...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三八三・三九七

馬二日

一一〇〇九五...

海

軍

132

七六一... 四一四... 九九八... 三一三... 一一二... 三三五

一、二六... 海防... 七才合...

三六一... 二二二... 二二二... 二二二... 二二二

三八... 三九... 三八

三六三... 三〇... 二六... 一五〇

一三一... 二二... 二二...

三三三... 三三... 〇二〇

三三三... 三三... 三三...

三三一... 三三... 三五...

三三三... 八四... 八四... 八四...

三三三... 八八... 八八... 八八...

三三三... 三三... 三三...

三三三... 三三... 三三...

三三三

133

海軍 二

1/2



第三特種親展

第二 第8155号 第107110 (OOHIO) 第...



局長 大 課長 局長 局長

電話 〇一八〇五番電 二分ノ一

第二十六次...

本館本館の... 在在力へ大... 子大へ... 展下... 地ヨリ...

七八四

日三A(七八五五記)三通

海

134

第電 十部 部

員並に諸君ニ有難詞ノ義氣非共内應ニ於テ實益スルヲ可ト認ム一ニ組
 織兼序アハ結成實施ノ要ア **作** 成 上
 今更ノ開斗序列ニ於テ吾輩無難ヲテ少ク益害大ニシテ敢テシテ益々
 増長セシムル義氣スハ本結成トナリシニミナラス第二十六號空襲隊
 又探聴員並立等ノ情況ニテナリ

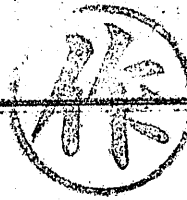
第電
十信
線

海

馬

135

3KF



人事局

第三等官現表

丁給價
〇〇二
五三二
三〇二
〇〇八

(〇〇四七九)

作



電信課

- 東通氣付・南西方面艦隊口
- 千代田・一機隊口・四南通艦隊口・第一機動艦隊口

機密第〇一八三〇番電

第三南遣艦隊參謀長

大澤參一郎長・南西方面艦隊參謀長・軍務局長

タウイタウイ及ギマラス泊地ニ關シテハ機密第二三一〇一七番電返ノ

通ナル處艦隊ノ現状ヲ以テシテハ兩泊地ヲ敢行整備スルコト困難

且ギマラス泊地ニ對スル兵器等内地未發送整備期日甚シク遅レル點及

並艦部隊進出豫定ニモ懸ニ此ノ際全力ヲタウイタウイノ整備ニ集中五

七一六 陸三A(七八五五部)廿一編

海軍

136

月中旬之ヲ概成スルコト致度

開泊地ノ整備上三三船橋(配屬ノ大發ヲ含ム)見張所(戊)二組防空
隊一及電線敷設艇(大立)ノ進出配屬ヲ急速實現相成度右豫定期日通
知ヲ得度等ニ電線敷設艇ハ四月十日迄ニ「マニラ」ニ到着ヲ要ス。

Kg?

海軍

137

947

人事局

親展扱

三 二〇三三 丁 二〇四〇 (四七七八)

作

海軍省

作

中部太平洋方面艦隊△・第一機動艦隊口

海軍省

機動艦隊 〇二二二四 五番電二分ノ二

陸軍省

敵艦隊引續キ東攻ノ氣勢極ノテ濃厚ナル現狀ニ於テ第一機動艦隊今一
リンガールニ下タル理由ハ今ヨリ二週間ノ間ヲ以テ機動艦隊トシテ
ノ機能ヲ發揮スルニ期スルヲ望ムシテ會敵阻撃ノ態ニテハ何日迄モ基
地航空部隊ノ被テ度シ得ズ致テ危險ヲ冒ス所以ナリ此ノ後復ナル類
同ニ對處スル爲ヨロトシテハニユーギニヤ北岸ノ哨戒ヲ至緊ニシ
敵ノ奇襲上陸ニ備ヘ又要スレバ艦艇ヲ兵力資材ノ増強ニモ當テルヲ

一七四九、一七六五、四四、一九五五〇、二一

海軍

38

以下左記諸點應之程度

一 第四艦隊軍ノ急務増強

二 比島一ノオオ一及蘇北方面等ニ「ニユ一キニヤ」北部ニ對スル艦

兵ノ増強

三 三ノ艦隊ヲ速ニ蘇聯防備艦隊力ノ急務増強

第百十條

海軍

139

27

人事局

作

親展

作

受了始末
一一九
二一〇
〇一五〇〇

(〇一五〇八)

作

第十信課

- 聯合艦隊司令部・中部太平洋方面艦隊司令部・南西方面艦隊司令部
- 大澤參謀部・第一機動艦隊司令部

陸軍部

機密第〇三一六五五番電

發 第二艦隊參謀長

遊撃部隊及掃海航空隊ダバオニ於テ待機中ノ處泊地不良對潛防備皆無
且防護並ニ訓練上艦隊長期待機ニ不適ナリ「タウイタウイ」ノ現状亦
然リ遊撃部隊ハ此ノ際速ニリンガ方面ニ回航待機シ既往訓練場シテ不
足ノ實情ニ候ニ急遽艦隊訓練場(十日乃至二週間)ヲ實施旭部隊ノ行
動ニ照應シテ機宜菲島西南部方面ニ進出スルヲ可ト認ム
至急何分ノ指示ヲ得度

一七八三

呂三A(一九五五〇)海廿一號

140

GE GLE

人事

緊急

一九四三

(〇一五九三) 作

親展



海上軍需總司令部

海上軍需總司令部 〇・十一本國郵政



東・聯合艦隊

機密第〇三二〇一九番電

陸軍機

電令作第 一一六號

大海指第三六〇號ニ依リ第十一水雷戰隊ニ對スル本艇及横須賀鎮守
府司令長官ノ作戰指揮ヲ解ク。

〇三八三

百三A

海軍

第十信課

141

GF

局長

課長

局員

局員

剪

考

第

第十

作

1995

11110

1995

聯合

...

...

...

...

...

...

...

...

142

TYF

作務課長

人事

課長

局長

守井

宗

部

作

四 要領一〇四五
開始一〇〇〇

丁一一日一

一〇一六七〇

● 二級 警 戸
● 大 臣・ 参 事・ 長・ 聯合 陸 軍 各 戸

陸軍省機

機密第〇四〇八五四番

陸軍省聯合作務一四號

陸軍省聯合作務一四號

一、以 及 警 戒 隊 運 送 等 事 用 就 「ムヒク」 出 船 ノ 予 定 ヲ 以 テ 調 査 待

知

兵 備 余 ノ 兵 力 ハ 東 方 面 ニ ア リ テ 警 戒 隊 練 兵

二一七一

AA(一〇〇九五七)五通放

海 軍

143

KTYF

入事

局長

課長

局員

工勇

赤松

徳田

第十部

至急
親展

作

附送三機

機組三台取

機組三台取

未

未

未

東道二十一日。東京海軍工廠。第三工場。第一機組三台取。

機組三台取。九二六番。取

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

海軍大学校方面。機組三台取。

二三三三

AA(1009五機)五機取

海

軍

144



1905 1020811 伊藤・...

Vertical text columns, possibly a list or report, including the number 1020811.

Vertical text column, possibly a date or reference number.

Vertical text column, possibly a name or title.

Main body of vertical text, likely the primary content of the document.

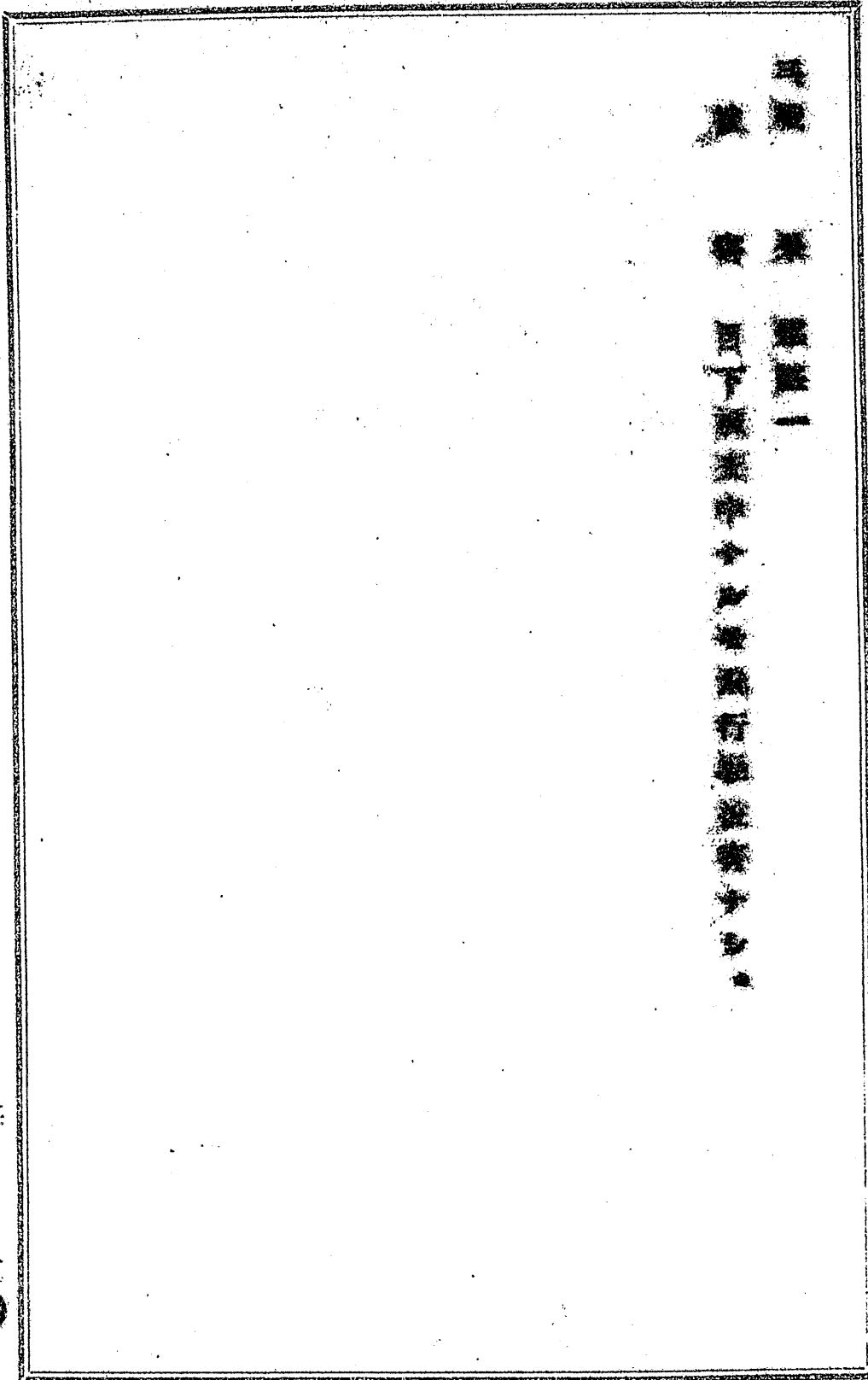
Vertical text on the left margin, possibly a page or document identifier.



第十信 開便

145

0156



海軍

第十信課

146

K27

作

及

開始〇六三五

〇六四五

〇二一六九

作

第十信

● 二號機▽・機 陸・六五三空

● 大津第一隊 二七三機▽・聯合艦隊口・三機隊口・七五三空・五二二空・八〇一空・三五三空

機番第〇四一八〇〇番電

第三航空艦隊司令部

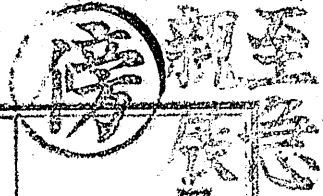
東部作戦開始後ノ場合第二航空艦隊司令部及六五三空展開決定基地
ヲ德島(敵艦ニ依リ監視)トス。

二五五〇(一)A(一)B(一)C(一)D

海軍

147

Kolj



又

五四 受領〇八三三三

丁〇八四〇 (〇二二二三) 俾

● 共

特

陸軍機

機密第〇四一八四〇番電

陸 第一機動艦隊

海 第一機動艦隊

通報

ト此方ニテハ判断シアリ。

二六四八

AA(一七五九〇)一〇通

海軍

第拾五線

148

KDF

入局

親展

作製

調陸

了結

〇〇〇〇

〇二五二三

〇〇

復信者

中印太平洋方面、南四方面、第二谷陸隊中

大 陸 隊 聯合陸隊各中

暗部軍機

〇五〇〇〇〇

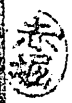
機動部隊電令作第一五一號

一、暗部在動其ノ他ニ從事中ノ一部兵力ヲ除クハ速ニ退軍ニ向
就四月十五日出陣ノ目途トシテ訓練待機スベシ

二八五七

AA(一七五九〇〇)一〇通海

軍



第十信課

149

9F

作

入事

第七
二三四五 (OMIHO) 像

第四

大...

...

...

大...

...

...

...

入事

四五 受領 始價 一七三九 辭了 一八三五 (〇二四四七) 作

共 符

● 第三南邊線 〇 大津第一節・中津太平洋方面線 〇 南西方面線 〇

機密第〇五二一〇〇番電

第一機動艦隊參謀長

警備隊海島中南部方面進出ニ關シ陸軍リ左ノ陸項四月二十日「ギマラス」海峽關係ハ五月上旬ノ頃迄ニ實施方取計ヲ得度

「クウイタウイ」及「ギマラス」海峽治地ノ接應並ニ同治地周邊

關係關係ノ接應

「クウイタウイ」ニ附設無線(魚雷艇又ハ砲艇)最少限四隻程度
「ギマラス」海峽「サンベルナンデ」海峽間ノ航路要點ニ特務隊
機密第一機動艦隊後報

二九六八 AA 一八八九〇〇七一十通 海軍

151

2下

人事局

長 課長

13005

13005

13005

13005

13005

第六

四

六

受領了

000
八七七
一五〇
五五七

(〇二六四八)

禁下

禁下

禁下

禁下

作

● 中部太平洋方面艦隊
● 大本營海軍部・第一機動艦隊中・聯合艦隊中

機密第〇五一七〇〇番電

機密第〇五一七〇〇番電

發 二〇參謀長

度將艦艇不足並に敵送艦艇任務中ノ第三十一驅逐隊(長彼缺)玉渡
及第十七驅逐隊(磯原風缺)ハ四月十五日迄ニ間ニ合ハザルモノハ選
夕至四月二十日迄ニ夫々逐次原隊ニ合同スル機取計ヲ得度。

三三七一

三三A(1000九五四)海通

軍

152

親

344



受領〇二一五 丁〇三二三 (〇二五八九) 作區

〇二八

海上護衛隊司令部 第四方面艦隊司令部

機密第〇五一九〇五番

第三南遣艦隊

艦令第三二號 二八八大海指第三六一號 作級ニ關シテ 長官ノ指揮ヲ受クベシ。

三二九五

長二八(七八五五)三十一

海軍

第九十課

153

TYF

緊急作

六 要路一七四五〇

丁一八三〇 〇三一一三

五 通 信 隊

● 大海軍一部・大海軍二部・軍務局・聯合艦隊司令部

● 聯合艦隊司令部・南西方面艦隊司令部・二種司令部

機密第〇六一一四二番電

TYF 參謀長

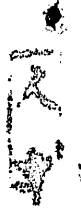
四月中旬以降一KDFノ南D南部方面進出及内南洋方面防備強化ニ伴
 フ輸送船運需量甚大ニ補給等聯合艦隊司令部油糧船ノ増強促進ノ急ヲ要
 スルニ鑑テ中央ニ於テ決定ヲ見タル新配屬予定油糧船ノ南方及油補給
 船運着目及時機通知ヲ得度請機動艦隊ノ出撃ニ支障ナカラシムル爲メ
 P方面ニ於ケル油糧船ノ被害ヲモ考慮シ更ニ之ガ追加増強並ニ日榮丸

三五七六

AA(B)八通放

海軍

54



海軍本隊ノ艦艇運送ヲ必ズイテ取リテ其ニ付随ノ艦艇ニ右列ノ如クニ
附ニ運送アリ。

第
十
編

海

軍



155

9F

人事



受領一三一人
開始一六〇〇

丁一六一八

一〇三三九〇



區

中太平洋方面艦隊司令部・一航空艦隊司令部

海軍省・海軍省・海軍省

機密海〇七一一三三番電

〇下電令作參四一號



大海指第二二二號及第三四八號ニ關聯スル機密海軍省空隊ノ派

遣兵力ニ對スル本隊ノ作戰指揮ヲ解カル

ニ右兵力ハ原隊ニ復歸スベシ

四〇八三

呂三八(一九五五〇)二二一編

海

軍

第百十編

156

4KF

人事



四八 陸軍 給 〇〇三〇八 丁 〇五二二 (〇三五八八) 作

● 東 二四〇〇・六

陸軍部 〇七二〇五〇番

陸軍部 陸軍部

宛 大海参一隊長、軍務局長

第六發備隊兵力増強ニ關シテハ六海軍部第五六號上申ノ通ナルトコ
ロ「スンバ」島第一第二「メロロ」航空基地ハ四月末敷成ノ豫定ナ
ルモ現兵力ニテハ之ヲ充實スル發力ナシ故小隊一ケ中隊ノ兵力ヲ重
疊増員方配慮ヲ務度

四五三三

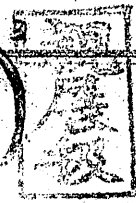
ロ一八一五九〇五〇二一

海軍

知照
十位
録

157

GKF



人

東洋銀行 (TOYO BANK)

東京支店 本町二丁目

支店長 〇八一五八

東京支店 本町二丁目
支店長 〇八一五八
支店副長 〇八一五九
支店主任 〇八一六〇
支店副主任 〇八一六一
支店庶務 〇八一六二
支店出納 〇八一六三
支店簿記 〇八一六四
支店査査 〇八一六五
支店係長 〇八一六六
支店係員 〇八一六七
支店係員 〇八一六八
支店係員 〇八一六九
支店係員 〇八一七〇
支店係員 〇八一七一
支店係員 〇八一七二
支店係員 〇八一七三
支店係員 〇八一七四
支店係員 〇八一七五
支店係員 〇八一七六
支店係員 〇八一七七
支店係員 〇八一七八
支店係員 〇八一七九
支店係員 〇八一八〇

東洋銀行 (TOYO BANK)

海 軍

158

川大寺蔵 10 (萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八) 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八
 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八
 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八 萬葉集卷之八

第115
録詳

海

軍

159

KdF

人事

赤印

第十信課

四九八

受了始清

〇〇二
六五三
〇一〇
〇〇九

〇〇四
一四八

作・航 本

共

符

作

第三艦隊

大澤第一隊・航本線部隊・聯合艦隊

機密部〇八一九〇一香電

二分ノ二三

第二軍司令部

艦隊機密部〇一〇五〇八香電取指

四月八日六五二陸機行機密現狀左ノ如

一、海陸陸基他兵力トシテ使用可能約八〇%（但シ機材ハ戰時標準機ノ

モノトシテ考慮セラル機密）

二、戰時標準機三月十九日一二名四月八日六名額線開始

五二二六・五一六六

第三A（B）機

海

軍

160

當分訓練ヲ要ス（五月中旬概成ノ豫定）

三九九式陸軍砲臺地兵力トシテ使用可能八五％（大風派達中八組ヲ含

ム）

四陸軍陸軍砲臺ニ於テ訓練終了セルモ最近ニ於テ發生セル震動機損

損ニ因リ修理打掃空線セル機材等

五天山隊機材ニ於テ訓練終了セルモ供給被ダシタ遲延セルタメ領收空

機セル機材等

六陸軍砲臺開始豫定 等取設備 停 四月十一日舞臺天山目下ノ處豫

定シ得ズ

七四月末陸軍兵力トシテ使用可能ノモノ等取約四〇機 停 概本全機

ノ見込

八其ノ他

(4) 陸軍員ノ綜合能力約六〇％兵隊員同五〇％ニシテ相當訓練ヲ要ス

第十信課

海軍

ノ事情ニアリ

- (一) 陸軍省事務ノ改修全機未済（四月二十日以後着手シ得ル見込）
- (二) 四、五項ノ關係圖ヲ中央ニ派達願在中ニ付詳細後報。

第十課

海

軍

162

NTE



四九 陸軍 一六〇〇 野丁一七二五 (〇四四〇七) 作・△

聯合艦隊司令部 第六艦隊司令部

大連第一艦隊 聯合艦隊各司令部 中樞太平洋方面艦隊司令部 七海軍司令部

海軍部 第九〇八五五番電

海軍部 陸軍部

南方方面艦隊協力潜水艦三艘ヲテハ南東方面艦隊司令部第二八〇九四〇番
第一三月一號リナルトニモ併艦第四十二潜水艦ノ事故ニ依リ現在大連
二隻ニ減少スリ
南方方面艦隊司令部 海軍部セントスルニ依リ急遽連絡協力潜水艦増強ノ
案ニ取計テ有度

五四五二

三三A 一九八九〇年一八號

海軍

第十信課

163

TYF

人事

作

新展

至 昭和十一年五月

東京市立美術館

（東京市立）

第一



第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

第九

第十

第十一

第十二

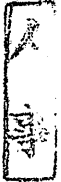
海

軍

年電
十信
録課

165

TVF



10 東京（東京） 東京（東京）

東京（東京） 東京（東京）

東京（東京） 東京（東京）

東京（東京） 東京（東京）



東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

東京（東京）

海

軍

第十卷

186

4F

人事

未読

第十信線

四一〇 受給 二四二五 丁一六三三 (050116) 作

東京 第五通信隊

五四五



海軍省

機密第一〇〇九〇八番電

第四艦隊参謀長

艦長 海上護衛司令長官兼艦長

連絡 五根司令官所在艦所 第四艦隊艦隊司令官所在艦所

マツノ長官兼艦長

費機密第一〇八二二二番電返

兼飛行機隊ノ現況ハ特ニ入港給油制限ノ要ヲ阻ノザルモP.F.ニ於テ
ル一日一機ヨリノ荷揚能力最大一五〇〇立米程度(晝夜兼行)ナルヲ

六二〇四

呂一A (一八九九五部) 四放

海 軍 1

以テ一晝夜一止ムヲ得ザル場合モ二晝夜一ニテ補役完了ノ船舶ヲ充當
アリ度
尙同時ニ補役可能ナル隻數ハ甚大ニ望ムナリ。

電信線
第十課

海軍 2

169

TYF

作

10 監製 監修 監録 (OBSERVATION) 録

監製 監修 監録



監製 監修 監録

監製 監修 監録

監製 監修 監録

監製 監修 監録

監製 監修 監録

監製 監修 監録



第十部 録

監製 監修 監録

170

目下

地方兩天線（降線）例年より約二旬遅延シテ
五一より飛行機一部四月十五日北千島退出ノ後定ナリシモ四月下旬
ニ遅延ノ見込。

第十部課

海

軍

172